

2022年 社長年頭御挨拶

新年あけましておめでとうございます。ご家族おそろいで穏やかな新年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

昨年は、一昨年が続いて新型コロナによる社会・経済活動の制限があり、移動制限や外出自粛などにより閉塞感や停滞感の漂う一年となりました。一方で、明るい話題としては、将棋の藤井聡太竜王（四冠）の誕生やメジャーリーグの大谷翔平選手の活躍など、若手の台頭・飛躍が大きなニュースとなりました。当社の状況では、伐採・用地交渉、簡易設計などの既存業務は、不透明な環境のなかで、これまでのところ堅調な業績を維持しています。また、防護管管理業務を始めとする新規業務においても、いくつかの課題はあるものの、関係者の踏ん張りとお各所からの温かい支援によって、軌道に乗りつつあります。



代表取締役社長 大石 悦郎
社長執行役員

さて、今年は、昨年4月に策定した「CHS経営ビジョン2025」をもとに、様々な課題に対して地道に取り組んでいく一年となります。

具体的には、既存業務を中心にTPS（トヨタ生産方式）などを活用した業務効率化に継続して取り組んでまいります。また、防護管管理業務を始めとする新規業務をより安定化させるとともに、さらなる新規事業の導入にも精力的に取り組んでまいります。さらに、会社の業績を向上させ、成長していくために、人材育成や安全・衛生、コンプライアンスなどの面についても、制度の充実を図ってまいります。

最後になりますが、本年が皆さんとご家族にとって実り多い一年となりますことを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。